

日本史

【問題1】 7世紀から11世紀までの藤原氏に関する次の文章を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。

藤原氏の隆盛は、中臣鎌足が藤原姓を賜り、鎌足の子の藤原不比等が①律令制度の整備に関与したことに始まる。不比等の四子は②長屋王を滅ぼした後に天然痘で全員死去したが、彼らを祖とする藤原四家は、奈良時代にそれぞれ政治的影響力を持った。しかし、南家は8世紀の③藤原仲麻呂の乱によって衰退し、式家も9世紀の□アをきっかけに没落した。京家は目立った活躍が少なく、早くに勢力を失った。

一方、北家は④藤原冬嗣以降も権勢を失わず、冬嗣の子□イは摂政に、その養子である□ウは関白になった。以後、藤原氏は天皇の母方の親族として外戚関係を築きながら摂政・関白の地位を独占し、実質的な政権運営を藤原氏が担うようになった。

一方、⑤醍醐天皇や村上天皇など、親政を行う天皇がいなかったわけではない。しかし、藤原氏は菅原道真や⑥橘氏などの他氏の有力貴族を政界から遠ざけ、天皇が藤原氏に頼らざるを得ない状況をつくった。こうした血縁による権力掌握と政敵の排除によって、藤原氏は平安中期に絶頂期を迎え、⑦藤原道長・⑧藤原頼通の時代には絶大な権勢を誇った。

問1 下線部①の「律令制度」に関連する文X、Yについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。□1

X 尊属に対する不孝は、有位者でも減免されない重罪であった。

Y 常置の官職の中で最高位のもは、左大臣であった。

① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤 ③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

問2 下線部②の「長屋王」に関連する文X、Yについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。□2

X 藤原京にある長屋王邸宅跡からは数十万点の木簡が出土した。

Y 長屋王は皇族勢力を代表して勢力をふるっていたが、729年に謀反の意図があるとして、藤原宇合らに邸を囲まれ自殺に追い込まれた。

① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤 ③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

問3 下線部㉔の「藤原仲麻呂」に関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 中国の則天武后や玄宗の治世にならい、唐式官名の採用を行った。
- ② 孝謙天皇から恵美押勝の名を賜った。
- ③ 大師（太政大臣）となり、養老律令を施行した。
- ④ 法相宗の僧道鏡を政権から除こうとして失敗した。

問4 にあてはまる語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 藤原広嗣の乱 ② 伊治些麻呂の乱
- ③ 昌泰の変 ④ 平城太上天皇の変

問5 下線部㉕の「藤原冬嗣」は藤原氏のための大学別曹を創設したことで知られている。藤原氏の大学別曹として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 弘文院 ② 勸学院 ③ 学館院 ④ 奠学院

問6 と に入る人物の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① イ 藤原良房 ウ 藤原基経
- ② イ 藤原基経 ウ 藤原時平
- ③ イ 藤原時平 ウ 藤原道隆
- ④ イ 藤原道隆 ウ 藤原良房

問7 下線部㉖の「醍醐天皇」に関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 紀貫之・紀友則らに『古今和歌集』の編纂を命じた。
- ② 延喜の荘園整理令によって、勅旨田・院宮王臣家の山川藪沢占有を禁じた。
- ③ 最後の皇朝十二銭である乾元大宝の鑄造を命じた。
- ④ 三代格式の一つである『延喜格式』の編集を命じた。

問8 下線部①の「橘氏」に関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ
選びなさい。

- ① 橘諸兄は留学経験のある吉備真備・玄昉を政治顧問に迎えた。
- ② 橘逸勢は空海、嵯峨天皇とともに三筆の一人に数えあげられた。
- ③ 橘広相は阿衡の紛議の責任を問われ罰せられた。
- ④ 橘奈良麻呂は藤原百川を排除しようとしたが失敗して獄死した。

問9 下線部②の「藤原道長」が造営した寺として最も適切なものを、次の①～④のうちから
一つ選びなさい。

- ① 青竜寺 ② 園城寺 ③ 法成寺 ④ 室生寺

問10 下線部③の「藤原頼通」が建立を命じた宇治平等院鳳凰堂には阿弥陀如来像が安置され
ている。この阿弥陀如来像を造立した人物を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 遍昭 ② 喜撰 ③ 源信 ④ 定朝

【問題2】室町時代の文化に関する次の文章を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。

南北朝時代には、動乱の緊張感を背景に、㉔歴史書や軍記物語が制作された。この時代、は『菟玖波集』を撰し、連歌の規則書として『』を制定するなど、連歌の方式と地位を確立した。また、各地で茶寄合がおこなわれ、茶の銘柄を飲み当てる㉕闘茶が流行した。

室町文化の成立期は、3代将軍足利義満による北山文化の形成を中心に展開された。この時代、幕府は臨濟宗を保護し、㉖五山の制をととのえた。中国からの渡来僧や中国帰りの留学僧の影響により、禅だけでなく、禅の精神を具現化した㉗水墨画や建築・庭園様式も日本に伝えられた。

能も室町時代に大きく開花した。神事芸能としての猿楽や田楽から発展した能は、寺社の保護を受けた「座」と呼ばれる専門集団によって興行されるようになった。とくに、を本所とする観世座から出た㉘観阿弥・世阿弥父子は、将軍義満の庇護のもと、芸術性の高い能を追求し、今日の能の基礎を築いた。世阿弥はを作ったほか、能の真髄を記した理論書『風姿花伝』を著した。

室町文化は、8代将軍足利義政の時代に東山文化として発展した。応仁の乱後、義政は京都東山に山荘をかまえ、そこに銀閣を建立した。山荘内の東求堂にあるには、書院造の特徴が見られる。書院造の住宅や禅宗寺院には、岩と砂利で象徴的な自然を表現するがつくられた。

㉙室町時代には、民衆の社会的地位が向上するにつれて、庶民が主体となって楽しむ文化が生まれた。また、天台・真言宗などの旧仏教が衰退する一方で、㉚鎌倉仏教の各宗派は、武士や農民、商工業者などに信仰され、都市や農村に広まった。

問1 下線部㉔に関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 『増鏡』は鎌倉時代を編年体で記した歴史物語である。
- ② 『神皇正統記』は仏教の理論を背景に北朝の立場から皇位継承の道理を説いた歴史書である。
- ③ 『梅松論』は足利尊氏の幕府創立を中心にした南北朝時代の戦記である。
- ④ 『太平記』は南北朝の動乱を描いた軍記物語である。

問2 に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① アー宗祇 イー応安新式
- ② アー宗祇 イー水無瀬三吟百韻
- ③ アー二条良基 イー応安新式
- ④ アー二条良基 イー水無瀬三吟百韻

問3 下線部㉑に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 闘茶の流行とともに、茶の名香を聞き分ける聞香も流行した。
- ② 南北朝時代にはじめて茶が日本に伝えられ、闘茶によって茶を飲む習慣が広がった。
- ③ 闘茶の祖は村田珠光とされている。
- ④ この流行は、派手で贅沢を好む新興武士「バサラ」によって牽引された。

問4 下線部㉒の「五山」の上に別格としておかれた寺院として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 相国寺
- ② 南禅寺
- ③ 天龍寺
- ④ 龍安寺

問5 下線部㉓の「水墨画」の代表的な作品(X)と、その筆者(Y)の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① X—大徳寺大仙院花鳥図 Y—雪舟
- ② X—大徳寺大仙院花鳥図 Y—如拙
- ③ X—瓢鮎図 Y—雪舟
- ④ X—瓢鮎図 Y—如拙

問6 下線部㉔に関連して、将軍に芸能や技能をもって仕えた者として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 同朋衆
- ② 奉公衆
- ③ 御用取次
- ④ 旗本

問7 に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ウ—延暦寺 エ—謡曲
- ② ウ—延暦寺 エ—今様
- ③ ウ—興福寺 エ—謡曲
- ④ ウ—興福寺 エ—今様

問8 に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① オー同仁齋 カー枯山水の庭園
- ② オー同仁齋 カー浄土庭園
- ③ オー黄金の茶室 カー枯山水の庭園
- ④ オー黄金の茶室 カー浄土庭園

問9 下線部⑥に関する次の記述Ⅰ～Ⅲについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ 風流と念仏踊りがむすびついて盆踊りが生まれた。
- Ⅱ 素朴で娯楽的な能が、狂言を合間にはさみながら、民衆の間で演じられた。
- Ⅲ 絵と話し言葉で書かれた物語である浮世草子が、民衆に好まれた。

- ① Ⅰー正 Ⅱー正 Ⅲー誤
- ② Ⅰー正 Ⅱー誤 Ⅲー正
- ③ Ⅰー誤 Ⅱー正 Ⅲー正
- ④ Ⅰー誤 Ⅱー誤 Ⅲー正

問10 下線部⑧に関連する次の記述Ⅰ～Ⅲについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ 曹洞宗は、一休宗純らの活躍によって各地に広がった。
- Ⅱ 日蓮宗の日親は、『立正安国論』をもって6代将軍足利義教に諫言した。
- Ⅲ 本願寺の蓮如は、御文章（御文）を書くなどして、精力的に布教した。

- ① Ⅰー正 Ⅱー誤 Ⅲー正
- ② Ⅰー正 Ⅱー正 Ⅲー誤
- ③ Ⅰー誤 Ⅱー誤 Ⅲー正
- ④ Ⅰー誤 Ⅱー正 Ⅲー誤

【問題3】幕藩体制の成立に関する次の文章を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。

関ヶ原の戦いで の1人の石田三成を破って、豊臣政権内で実権を握った徳川家康は、1603（慶長8）年に征夷大將軍に任命され、 に幕府を開いた。息子の徳川 に將軍職をゆずった後も、大御所として幕府の実権を握り続けた家康は、1614～15（慶長19～元和）年に2度にわたる大坂の陣で豊臣氏をほろぼして幕府の権力を万全のものとした。

幕府経営の基盤となる直轄領（幕領）は18世紀初頭の概算で400万石にのぼり、全国の総石高のおよそ 分の1を占めた。これに加えて將軍直属の家臣である㊸旗本の知行地は300万石におよび、また、全国の主要な鉱山や都市を直轄地としたことで商工業や貿易を支配下におき、㊹貨幣を発行する権限も握ることで幕府は経済面での統治体制を確立した。軍事面では、旗本・ からなる將軍直参の家臣のほか、諸大名には軍役を課して従軍させることで圧倒的な力をもった。

大名とは、石高1万石以上の武士を指し、徳川家との関係で㊺親藩・㊻譜代・外様に分けられた。親藩・譜代の大名の多くは に近い地域に、外様は遠い地域におかれ、それぞれの領地は藩として大名が家臣団を組織して統治した。

全国の諸大名を統制する方策には、豊臣氏をほろぼした同年に定めた一国一城令や大名のまもるべき心得を示した㊼武家諸法度などがある。武家諸法度に違反した大名に対しては、改易や減封などの処分が下された。藩の財源をいちじるしく圧迫する参勤交代は、3代將軍徳川家光が発布した武家諸法度で義務づけられたもので、これによって幕府の統治体制はますます強固になっていった。

問1 にあてはまる語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 京都所司代
- ② 五大老
- ③ 五奉行
- ④ 側用人

問2 にあてはまる語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 岡崎
- ② 江戸
- ③ 駿府
- ④ 伏見

問3 にあてはまる人物として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 秀家
- ② 秀忠
- ③ 秀次
- ④ 秀頼

問4 にあてはまる語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 3
- ② 5
- ③ 7
- ④ 9

問5 下線部①の「旗本」に関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 御目見得を許される1万石未満の将軍直属の家臣である。
- ② 享保年間の旗本の数は約5000人であった。
- ③ 知行取・蔵米取の両様がある。
- ④ 老中を補佐する若年寄・大目付は旗本から選任された。

問6 下線部②の「貨幣」に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 家康が日本ではじめて同じ規格と品質でつくらせた金貨・銀貨を慶長金銀という。
- ② 勘定奉行の下に設置された鑄銭司で鑄造した。
- ③ 慶長小判以降、7代と15代以外の将軍の代替わりごとに13種類の小判が鑄造された。
- ④ 元禄期の貨幣改鑄以後はさらに高品質の貨幣が鑄造されるようになった。

問7 にあてはまる語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 御家人
- ② 志士
- ③ 名子
- ④ 奉公人

問8 下線部㉓の「親藩」に関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ
選びなさい。 28

- ① 親藩中の最高位である三家は家康の子の家であり、将軍後嗣を出し得る家である。
- ② 徳川氏一門の大名のことである。
- ③ 幕末には越前・会津の松平家やこれに準ずるものも含めるとおよそ20家を数える。
- ④ 幕末の雄藩の一つでもある越前藩（福井藩）の松平家は、徳川家光の異母弟の保科正之を祖とする家である。

問9 下線部㉔の「譜代」に関する次の記述Ⅰ～Ⅲについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 29

- Ⅰ 譜代大名の中には武田・北条の遺臣も含まれている。
- Ⅱ 石高は多いが、幕府の要職につくことはできなかった。
- Ⅲ 最も石高が多い譜代大名は彦根藩の井伊氏である。

- ① Ⅰ—正 Ⅱ—正 Ⅲ—誤
- ② Ⅰ—正 Ⅱ—誤 Ⅲ—正
- ③ Ⅰ—誤 Ⅱ—正 Ⅲ—誤
- ④ Ⅰ—誤 Ⅱ—誤 Ⅲ—正

問10 下線部㉕に関連して、将軍とその将軍が発布した武家諸法度の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 30

- ① 徳川家綱 — 寛永令
- ② 徳川家光 — 天和令
- ③ 徳川綱吉 — 寛文令
- ④ 徳川秀忠 — 元和令

【問題4】 次の史料を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

村山富市首相の羽田孜新生党党首の代表質問への答弁

（中略）の終結後も㉑国際社会が依然不安定要因を内包している中で、我が国が引き続き安全を確保していくためには㉒日米安保条約が必要であります。また、日米安保体制は、国際社会における広範な日米協力関係の政治的基盤となっておりますし、さらに、アジア・太平洋地域における安定要因としての米国の存在を確保し、この地域の平和と繁栄を促進するために不可欠となっております。（中略）

が、日米安全保障関係のすべて、すなわち条約上のさまざまな義務を含め完全に履行する決意を明示したものと受けとめてよいかどうか、こういうお尋ねでございますが、私の政権のもとでは、今後とも日米安保条約及び関連取り決め上の義務を履行していくとともに、日米安保体制の円滑かつ効果的な運用を確保していく所存であります。（中略）

次に、㉓自衛隊に関する㉔憲法上の位置づけについての御質問でございます。（中略）私としては、に徹し、自衛のための必要最小限度のである自衛隊は、憲法の認めるものであると認識するものであります。（中略）また（中略）今後とも、㉕国際平和維持活動に対する協力については、憲法の枠内で、㉖国際平和協力法に基づき積極的に行っていく所存であります。

（官報）

問1 に入る語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 世界恐慌
- ② 文化大革命
- ③ 冷戦
- ④ アラブの春

問2 下線部㉗に関連して、1990年代に起きた出来事として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① キューバ危機
- ② 湾岸戦争
- ③ 第二次石油危機
- ④ ベトナム戦争

問3 下線部㉖に関連して、1951年9月に調印された日米安全保障条約の説明として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① サンフランシスコ平和条約とともに調印された。
- ② 東条英機が調印した。
- ③ 在日米軍の行動範囲とされる「極東」の定義はあいまいだった。
- ④ アメリカの日本防衛義務は明示されなかった。

問4 に入る語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 自民党
- ② 共産党
- ③ 新党さきがけ
- ④ 社会党

問5 下線部㉗に関連して、自衛隊の発足についての説明として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 日米間におけるMSA協定の締結により、自衛隊発足の方針が決まった。
- ② 自衛隊は、吉田茂内閣のときに発足した。
- ③ 自衛隊の発足に際し、従来の防衛庁を発展・改組して防衛省とした。
- ④ 保安隊と警備隊を統合し、陸・海・空の3隊からなる自衛隊が発足した。

問6 下線部㉘に関連して、日本国憲法の制定過程および内容に関する説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① GHQの指示により憲法問題調査委員会が設置され、近衛文麿首相が委員長となった。
- ② マッカーサー草案（GHQ草案）の第24条は、日本育ちのアメリカ人女性ベアテ＝シロタが起草した。
- ③ 日本国憲法は、天皇主権・平和主義・基本的人権の尊重などの3原則を定めた。
- ④ 日本国憲法は、1946年2月11日に施行された。

問7 に入る語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 八紘一字
- ② 集団的自衛権
- ③ 世界平和
- ④ 専守防衛

問8 に入る語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 実力組織
- ② 暴力
- ③ 軍隊
- ④ 勢力

問9 下線部㉔の「国際平和維持活動」に関連して、これまで国連平和維持活動（PKO）で自衛隊が派遣された国・地域として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① パレスチナ
- ② カンボジア
- ③ アフガニスタン
- ④ 東ティモール

問10 下線部㉕の「国際平和協力法」に関連して、国連平和維持活動協力法（PKO 協力法）が成立したときの首相として最も適切な人物を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 岸信介
- ② 田中角栄
- ③ 中曽根康弘
- ④ 宮沢喜一